

特集
1

平成15年度 事業計画が 決定しました

平成15年3月6日(木)に開催した、臨時総会、理事会、評議員会の合同会議で平成15年度の事業方針と事業計画等について審議し、承認されました。
以下はその抜粋です。

平成15年度事業計画(抜粋)

自 平成15年4月1日—至 平成16年3月31日

I. 方針

協会は昨年創立35周年を契機に我が国のボランティア活動の一層の振興のために、組織体制や事業の見直しを行った。そして「改革実施計画」を策定するとともに、その具体化に努めてきた。これらをふまえて、本年度は以下を重点として諸事業を進める。

アクションプラン

1. 「改革実施計画」の具体化の推進

計画に従い、これまでの事業については、時代のニーズに応える大胆な改革を行うと同時に、新しい事業を創出していく。具体的には、「1年間ボランティア計画」を新たな展開に向けて改革し、「青年長期ボランティア計画」として、本年度は調査・研究を行いつつ、試行的に実施する。

また、青少年のボランティア活動を広げるために不可欠な有能なリーダーの育成を目指した事業を重点的に推進する。

さらに、活動の普及、啓発のために従来の「ボランティア・パスポート」の製作配布のほか、新たにリーダー養成のテキストや教材用の各種ビデオを製作するなど、ボランティア学習・情報センターとしての機能の強化に努める。

また青少年の奉仕活動、ボランティア体験活動の推進者を養成する事業の本格的な展開に先立ち、本年度は協議会を開くなど必要な諸準備を進める。

2. 関係機関・団体や関係施設との連携強化

事業推進にあたっては、これまでのボランティアグループ、団体を始め、福祉関係施設・団体等との提携関係に加えて、青少年教育施設等との提携を強め、共々により効果的な事業推進に努力する。具

体的には、国立青年の家や少年自然の家等と協力してボランティアリーダーの育成を目指す事業や、さらに関係団体と共に高校生のリーダーを対象としたボランティア学習促進事業等の開発に努める。

さらに、地域でボランティアとして活動している人たちとの研究協議や情報交換などの場づくりについても連携の中で模索していく。

3. 自己財源の確保への努力

厳しい経済情勢の中にあるが、青少年のボランティア活動を一段と推進するために、財源に関する財務委員会(仮称)を設け、特定公益増進法人としての持ち味を活かすための取り組みを行う。また昨年、新設した賛助会員の獲得に努めるなど新しい支援層の開拓に努力する。

II. 事業計画

1. 「青少年のボランティア活動の教育、訓練」事業 (定款第4条(1)事業)

【1】青年長期ボランティア計画 [新規]

これまで24年間実施してきた1年間ボランティア計画の成果と課題等を踏まえ、ボランティアとしての社会貢献とリーダーとしての学びの場づくりに努める。このため、平成15年度から「1年間ボランティア計画」を協会と活動先との共催による事業として発展的に推進する。

(1) 青年長期ボランティア活動モデル開発実践研究

青年の参加の場として様々なケースを収集・研究する。

- ①全国各地の施設・団体で活動する長期ボランティアのコーディネートを試行的に実施し、その活動のサポート、相談対応などを行う。

②活動先研究協議会の開催

6月と秋の2回(1泊2日)、協会と活動先が青年長期ボランティア計画のあり方と展開について協議する。

(2) 推進会議の開催

この計画を社会的に推進するために、長期ボランティア計画及び短期ボランティア計画の展開について、様々な角度から検討を加え、多様で多彩なプログラムの創出と社会的な仕組みづくりなどを研究協議する。

(3) 海外実態調査研究

米国、英国、ドイツの3カ国で、青年の長期ボランティア活動の実態調査を行い、計画の発展と社会的な環境整備の参考資料を収集する。

(4) 募集広報活動の展開

社会的な基盤の醸成と平成16年度以降に実施する「青年長期ボランティア計画」の参加者・活動先の募集のために「募集広報活動」を行い、次年度に備えた活動を行う。

2. 「青少年のボランティア学習の推進・支援」事業 (定款第4条(2)事業)

【1】青年ボランティアリーダーズフォーラム2003

青少年にとって魅力あふれ、社会課題の解決に寄与するプログラムを提供するために、全国各地で活躍している青年リーダーが集い、研鑽と交流を行う。

- (1) 期 日 平成15年9月13日(土)～14日(日) (1泊2日)
(2) 会 場 国立那須甲子少年自然の家(福島県)
(3) 参加者 30名(青少年団体・教育施設、V推進団体等のリーダー)

【2】おやこボランティア合宿

親子と一緒にボランティア活動体験を行い、その意義や喜びを理解し、絆を深め交流することを目的とし、家族単位でボランティア活動を振興する先駆的なモ

デルプログラムとして実施し、その成果をもとに全国的な普及と推進を図る。

- (1) 期 日 平成15年8月8日～8月10日 (2泊3日)
- (2) 会 場 国立磐梯青年の家と磐梯町の農家(福島県)
- (3) 参加者 小学生とその親 30組

[3] 全国高校生ボランティア・リーダーズ・サミット2003 [新規]

(子どもゆめ基金助成)

高校生のボランティアグループリーダーの交流とスキルアップを目的として開催する。高校生のボランティア体験(フィールドワーク)、討論、活動発表を通して、ボランティアリーダーとしての資質向上を図るとともに、リーダー相互の交流を促進し、地域における10代の活動の推進普及を行う。

- (1) 期 日 平成15年8月19日～8月21日 (2泊3日)
- (2) 会 場 足利市民活動センター、足利市研修センター(栃木県)
- (3) 参加者 150名(高校生ボランティアグループリーダー)

[4] 新成人に贈るボランティア・ガイドブック 平成16年版「ザ・ボランティア・パスポート」

青年の社会参加を促進するために、成人式を迎える青年たちにボランティア活動への参加を幅広く呼びかける。

3. 「ボランティア活動に関する指導者養成」事業 (定款第4条(4)事業)

[1] 青少年ボランティア活動推進者養成 [新規]

青少年の奉仕活動・ボランティア体験活動の効果的なプログラムづくりと運営方法などをまとめ、事例研究及び研究協議を行い、カリキュラムの検討とテキストの編集及び養成講座を企画運営するための協議会を実施する。今年度の成果をふまえ、青少年のボランティア活動を推進していくためのスキルの取得ならびにネットワークの構築を目的とした推進者養成講習会を次年度に開催するために、カリキュラムの検討とテキストの編集及び養成講座を企画運営するための協議会を今年度実施する。

(1) 研究委員会の開催

研究委員会を組織し、養成講習会のカリキュラムを策定するとともに、青少年ボランティア体験活動推進のあり方や視点、方法を研究協議し、推進のためのテキスト内容を企画する。

(2) 養成講習会のテキストの作成

(3) ビデオ教材の作成

青少年ボランティア活動体験推進事例

ビデオ教材(20分)を製作する。

(4) 研究協議会の開催

研究協議会では、国立の青少年教育施設と連携し、地域での推進者としての資質向上を図り、推進者のネットワークをつくっていくためにどんな講座が必要なのかを研究協議し、次年度の実施に向けての体制づくりを行う。

[2] ファミリーボランティア促進フォーラム [新規]

子どもと親(ファミリー)と一緒にボランティア活動を通して共通の体験をし、家族で社会に積極的に参加し貢献する機会を作るためにフォーラムを開催する。

- (1) 期 日 平成15年11月22日～23日 (1泊2日)
- (2) 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター(NYC)
- (3) 参加者 160名

[3] ファミリーボランティア啓発ビデオの製作と配布 [新規]

ファミリーボランティアのさまざまな事例を紹介する。

4. 「ボランティア活動に必要な調査、研究および出版」事業 (定款第4条(4)事業)

- [1] ボランティア白書の企画・準備
- [2] 「青少年のボランティア活動のすすめ(仮称)」ビデオ教材製作

社会教育的見地からも学社連携による活動の広がりや充実のために、青少年のボランティア活動の先駆的な事例を紹介するビデオを製作する。

5. 「その他目的達成のために必要な事業」 (定款第4条(7)事業)

[1] 青少年のボランティア活動に関する情報収集と提供、相談助言

- (1) JYVA LETTERの編集発行
- (2) ホームページの充実
- (3) メールマガジンの定期発行
- (4) ニュースリリース
- (5) 相談助言、マッチング

青少年のボランティア活動推進や企業の社会貢献、講座などの企画についての相談に対応する。

ボランティア活動希望者に活動の場や団体の紹介、企業等の行うボランティア活動支援金についての寄付先の紹介、講座などのセミナーの紹介を行う。あわせて、マッチングのあり方等の研究を行う。

[2] ボランティア活動に関する協働事業の展開 (自主財源)

- (1) 英国のプロジェクト・トラストのボランティア派遣事業への協力
- (2) 第28回「わたぼうし音楽祭」の共催
 - (1) 期日 平成15年8月3日
 - (2) 会場 奈良県文化会館国際ホール

- (3) 共催団体 奈良たんぼぼの会
 - (3) アサヒビールの社会貢献「ワン・ビール・クラブ」への協力
 - (4) 災害救援ボランティア活動への参画・支援・協力
- [3] ボランティア活動推進のための組織連携**

- (1) 「風人の会」への協力
- (2) 日本ボランティア学習協会への協力
- (3) 「広がれボランティアの輪連絡会議」への参画・協力
- (4) 「全国民間ボランティア・市民活動推進者企画戦略会議」への協力
- (5) 「全国ボランティア・コーディネーター研究集会」への協力

III. 組織及び財政運営

青少年のボランティア学習の推進という今日的な使命を実現するために、協会の運営基盤を一層強化する。そのために関係方面の理解と協力を得ながら、組織運営、事業開発、財政面にわたる基盤を強めるためにより一層の努力をする。

1. 組織運営

協会事業を推進するうえで、各地で活躍している協会関係者の果たしている役割は大きい。従来の人的ネットワークを活かしつつ、賛助会員制度などを通して新たな支援者やネットワークの開拓に努める。

[1] 役員会等の開催

- (1) 常任役員会を定例的、かつ必要に応じて開催する。
- (2) 副会長の業務分担(組織運営、事業開発、財務)を明らかにし基盤を強化する。

[2] 会員・支援者等の拡大と賛助会員の拡大

[3] 広報活動による人的ネットワークの強化

[4] 関係組織が行う事業への協力

2. 財政運営

役員体制の強化に伴い、財政基盤の強化と安定的財源確保に努める。そのために、自己財源の増加のための支援を呼びかける。さらに、収入(財源)に対応した事業計画を編成するとともに支出の縮減を図る。

[1] 財政基盤の強化

[2] 寄付・募金活動